

児童相談所関連研修「児童心理司（３～４年目）」（第１回）

【 日 時 】	令和３年１２月２日（木）、２０日（月）各日、９：００～１７：００
【 会 場 】	特別区職員研修所
【受講者数】	３０名
【 講 師 】	・東京都児童相談センター 職員 ・放送大学 客員教授 大六 一志 氏 ・オガタ心理臨床サービス 代表 緒方 広海 氏 CARE™ファシリテーター、臨床心理士 笠井 華英 氏
【研修内容】	<目的> 児童心理司（３～４年目職員）として求められる役割を理解すると共に、児童虐待の相談援助等に他職種・他機関と連携しながら的確に対応し、適切な治療的ケア、助言、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。 <内容> ① 心理検査結果による子どものアセスメント ② “WISC-IV”を活用した子どものアセスメント ③ CARE™（ペアレンティング・プログラム） <演習の様子> 
【受講生の声】	・子どものアセスメントだけでなく、児童相談所としてどう支援していったのか、心理司が行ったことも具体的に知ることができて勉強になりました。 ・WISCで分かること、分からないこと、解釈のポイントなどとても勉強になりました。 ・全体を通してワークが多く、自分の身を通じて、CAREの体験をすることができて良かったと思います。実践もしやすくなったと思います。 ・事例を通して、具体的に学べることが多く、グループワークも多かった所以他区の状態を聞けることも参考になりました。 ・CAREの技法を必要とされているケースがあるので早速伝えていきたいです。